

# てとて。

7

No.77



## 特 集

### もしも、認知症になつたら… ～自分らしく過ごすための秘訣～ (P2)

P.5 一人で判断したり、手続きが難しい方の相談にのります  
こんなちは、米原市権利擁護センターです

P.6 今年度の社協の取り組みは?  
令和5年度事業計画・一般会計予算

P.9 地域福祉を支える大切な資金です  
社協会費のお願い

P.12 心と身体のエネルギー  
ふくメし

P.13 活動のサポートや橋わたしをします  
ボランティア情報『まいボラ』

# もしも、認知症になつたら：自分らしく過ごすための秘訣

もしも自身や家族、パートナーが認知症を発症したらどうしますか。「生活がどうなるんだろう」「このまま暮らしが続けられるんだろうか」。そんな不安を感じる方もいらっしゃると思います。

そこで今回は認知症を専門にされているお二人に、認知症になつても望む生活を続けられるためのポイントについてお話を伺いました。

## そもそも認知症とは

「認知症」はもの忘れだけではなく、脳の変化によって物事が手順通りに実行できなかったり、思考や注意力が低下するなど記憶以外の認知機能も含まれ、それによって日常生活に支障をきたす状態をいいます。



米原市認知症初期集中支援チーム

米原近江地域包括支援センター  
**多賀 希 氏**

認知症ケア上級専門士  
看護師  
介護支援専門員

山東伊吹地域包括支援センター  
**今井 友緒子 氏**

認知症ケア上級専門士  
滋賀県認知症介護指導者  
介護福祉士  
主任介護支援専門員

### 「認知症」に関わる中で感じること

**今井** 多くの人が認知症そのものではなく、「認知症」と診断されることで、周りの人との関係や日頃の生活が変わってしまうことを恐れているのではないかでしょうか。「認知症」と診断されることが怖くて、相談や受診につながりにくいのではないかと感じています。

その結果、出会った時には症状が進行していることも多く、このような点からも認知症を正しく理解していただける活動を実践していくことが大切だと考えています。

**多賀** 認知症は四十代でも発症します。しかし、若い年齢で相談に来られることはなかなかありません。相談につながることができたときには、「実は一ヶ月前から違和感があった」と。もつと早くご本人と出会っていたら・・・と思います。認知症＝高齢者というイメージがありますが、若い方も早く相談していただけますと感じています。



## 関わり方のポイントを教えて

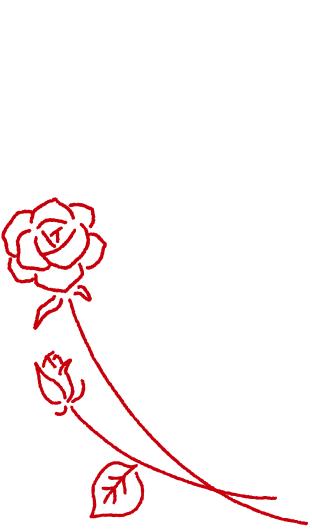
## 専門職として 皆さんにお伝えしたいこと！

**今井** 実は私たちの生活は選択の連続です。しかし「認知症の人＝何もわからない」と周りが思ひ込み、本人が選択する場面が少なくなっています。大切なことは、まず本人に「訊く」ことです。例えば飲み物一つにしても、私たちは何を飲むのか、その時の気分で決めます。でも「認知症」と診断がつくと、一回珈琲を頼むと、その後、毎回勝手に珈琲が出てくることがあります。このように周りの思い込みで決めてしまうのではなく、本人が「自分で決める」とができるように関わっていくことがポイントです。

## 認知症には「備え」が必要です！



**多賀** 認知症に関わらず、人として丁寧に接することが大切だと思います。顔を見て、伝えたことが伝わっていないようだったらもう一度伝えてみる。書いて渡すなど。何か特別なことをするのではなく、一人の「人」として向き合っているのではなく、私たち周りの人に求められていることだと考えています。



**今井** 「認知症には絶対にならない」という予防法は現段階ではありません。そのため自分は「どのように生きていきたいのか」「どのような生活を送りたいのか」を認知症になる前から考えておくこと。つまり認知症への「備え」が大事だと思います。誰もが年齢を重ねるとだんだんと新しいことが覚えられなくなり、誰かに助けを求めるようになります。そのとき「自分がどう生活していくのか」を伝えられるように備えておくことが大切です。

**多賀** また日頃の生活では「習慣づくり」が大切です。例えば、物をあちらこちらに置いておくと探し物が増えます。そのため物の位置を決めます。いつも同じ場所に片付けることを身体で覚えるような生活ができると「習慣」になります。このように元気なうちから「習慣」として取り入れることで、認知機能が低下しても日常生活での困りごとが大きくなりません。実は認知症になつてから習慣づくりを始めるのは難しいのです。「朝起きて体操をする」「早寝早起きをする」とことと同じように生活の一部として取り入れ、習慣づけること。これが理想の「備え」です。

# 頼るべき家族や周りの人に覚えていないことを指摘されることが何よりもしんどい！

実際に認知症と診断された

当事者の声をお届けします。

## 認知症と告げられて

正直、ショックでした。「まだまだ先のこと」「自分は認知症にならない」と変な自信もあったので、「まさか自分が・・・」と思いました。でもいろいろ変わるかと思ったけど、何も変わらなくて、これくらいなら大丈夫かつて思うくらいです。

## 生活の中で困っていること

皆さんが思っているほど困ることってないんです。調理も、献立を考えるのも、掃除も、昔からやつていることが当たり前になつていて、苦ではないし、じつとしている暇もないくらい動いています（笑）。でも、やっぱり家族や周りの理解は必要。覚えていないことは自覚しているし、自分のことは自分がよくわかつています。でも、それを再確認されるかのように指摘されることが一番しんどいです。特に家族は頼らないといけない存在なので、余計につらいし悲しくもなります。

## 認知症で悩んでいる方へ

同じ経験をしたからこそ言えることは、外に出て、人と交流することが大事。外に出るようになるまで、悩むこともあると思う。でも勇気を出して一步を踏み出すと全然イメージと違つて楽しいです。自分も経験をしたから悩んでいる人の気持ちも分かります。私は、勇気を出してデイサービスを利用して、そこで話せる仲間ができ、気持ちを吐き出すことで、気持ちが楽になる部分もありました。そして認知症であつても、今までと変わらない生活を送ることが大切だと思います。

## さいごに

認知症はいつ誰が発症するかわかりません。もしご自身や大切な家族、パートナーなどが発症した時のためにも「備え」が大切ということを、学ばせていただきました。誰もが認知症を自分で捉え、正しい理解が広がることで、たとえ認知症を発症しても、一人のかけがえのない人として、望む生活を続けられる、そんなまちづくりに向けてみんなで取り組んでいきましょう。



どんな些細なことでも構いません！  
私たちにご相談ください！

米原近江  
地域包括支援センター

米原市認知症初期集中支援チーム

☎51-9014

月曜日～金曜日（土日祝、12/29～1/3休）

午前8:30～午後5:30

（休日・夜間緊急時（虐待等）は転送電話による対応

米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」内  
米原市新庄77番地1

山東伊吹  
地域包括支援センター

米原市認知症初期集中支援チーム

☎55-8100

月曜日～金曜日（土日祝、12/29～1/3休）

午前8:30～午後5:15

（休日・夜間緊急時（虐待等）は転送電話による対応

米原市役所 山東支所内  
米原市長岡1206番地



こんにちは、米原市権利擁護センターです

ご本人・ご家族の中で  
このようなことで  
お困りではありませんか？

生活費のやりくりや  
手続き申請が苦手

父の後見人をしているが、  
事務報告書の書き方をどう  
書けばよいか分からぬ

成年後見制度の利用を  
考えているが、具体的に  
どうすればいいの？

障がいのある娘。親亡き後一人で  
生活していくために利用できる  
制度を知っておきたい

大切な書類などを  
失くしてしまうことが  
多くなってきて不安



このようなことでお困りの方、困っている人を知っている方、「ちょっと話を聞いてみたいな」と思われた方… お気軽にお問い合わせください。

米原市権利擁護センターでは…

認知症や障がい等により自分一人で判断したり、手続きをすることに不安を感じている方の相談支援や権利擁護に関する普及啓発などの活動を行っています。

◆お問い合わせ先◆

米原市社会福祉協議会 米原市権利擁護センター

米原市地域福祉センターゆめホール1F

〒521-0023 米原市三吉570番地

電話：0749-54-3205

FAX：0749-54-3115

E-mail：maibara@maibara-shakyo.or.jp



# 令和5年度

# 事業計画（概要）

## 【基本方針】つながりで地域の暮らしを支える

新型コロナウイルス感染症は、社会のなかで潜在化していた問題・課題を顕在化させました。とりわけ、新型コロナの長期化に伴う経済停滞と雇用の悪化、感染対策による『出会い』ことの減少は、誰もがいつでも困窮状態に陥ること、孤独や孤立など社会的なつながりが途切れることを実感させました。また、これらが少子高齢化や核家族化の進行、価値観の多様化などとあいまって、地域社会が抱える生活課題の拡大スピードが加速化したと言えます。

このような状況下、令和5年度の事業実施にあたっては、新型コロナとの共存を前提に、地域共生社会の実現に向けて、新たな工夫と創造を追求し実践します。

## 基本目標Ⅰ 第三次まいばら福祉の まちづくり計画の策定

★第三次まいばら福祉のまちづくり計画（第三次米原市地域福祉計画・第四次米原市地域福祉活動計画）の令和五年度中の策定に向けて取り組みます。

## 基本目標Ⅲ くらしを守る活動を広げる

★子どもから高齢者まで一人ひとりに寄り添います

- ①相談支援窓口の開設・運営
- ②権利擁護センターの運営（地域福祉権利擁護事業、法人後見事業の実施等）
- ③介護保険事業・介護予防事業の実施

## 基本目標Ⅱ 顔の見えるつながりを深める

### ★福祉のこころを育みます

- ①広報・情報発信
- ②地域共生社会フォーラム（社会福祉大会）の開催
- ③福祉学習連絡会議の開催、福祉体験学習の受入れ 等

### ★地域や人のつながりを深めます

- ①子育てサークル育成と活動支援
- ②遊びの広場の開催 等



遊びの広場の様子



- ④障がい者相談支援センターの運営
- 運営、障がい福祉サービスの実施
- ⑤放課後児童クラブの運営
- ⑥生活困窮者自立支援事業の実施
- ⑦フードバンク事業の実施
- ⑧各種貸付事業の実施
- ⑨その他の生活支援（福祉車両  
貸出、地域生活応援事業等）



災害ボランティアセンター  
運営訓練の様子



介護に関する入門的研修の様子

## 基本目標Ⅳ 助け合い、支え合う人を育む

- ①ご近助活動（自治会単位）の推進
- ②福祉活動団体・当事者団体の活動支援
- ③ファミリー・サポート・センターの運営
- ④災害時支援の連携構築、災害ボランティアセンターの設置・運営 等

- ①評議員会・理事会の運営
- ②情報公開と監査機能の充実
- ③会員・会費制度の普及推進
- ④財政の健全化
- ⑤人材育成と働きやすい職場  
環境づくり
- ⑥事業推進体制の強化

## 基本目標Ⅴ みんながつながるまちをつくる

### ★つながる仕組みを強化します

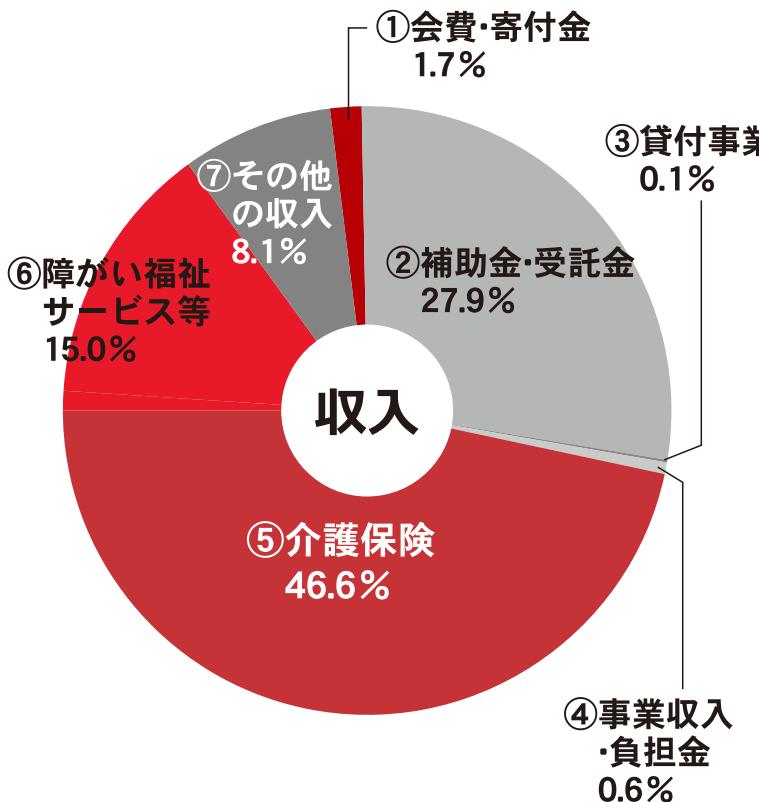
- ①地域ルルテ・社会資源台帳の作成と活用
- ②地域支え合いセンター事業・生活支援体制整備事業の実施
- ③多機関協働事業・アウトリーチ等事業の実施
- ④福祉サービス事業者支援、社会福祉法人のネットワークづくり、地域貢献の推進 等



ネットショッピングに関するデジタル講座の様子

- ★福祉人財を育みます
- 入門的研修の開催、実習の受入れ 等

# 令和5年度 一般会計予算



## 収入総額

**714,079千円**

単位（千円）

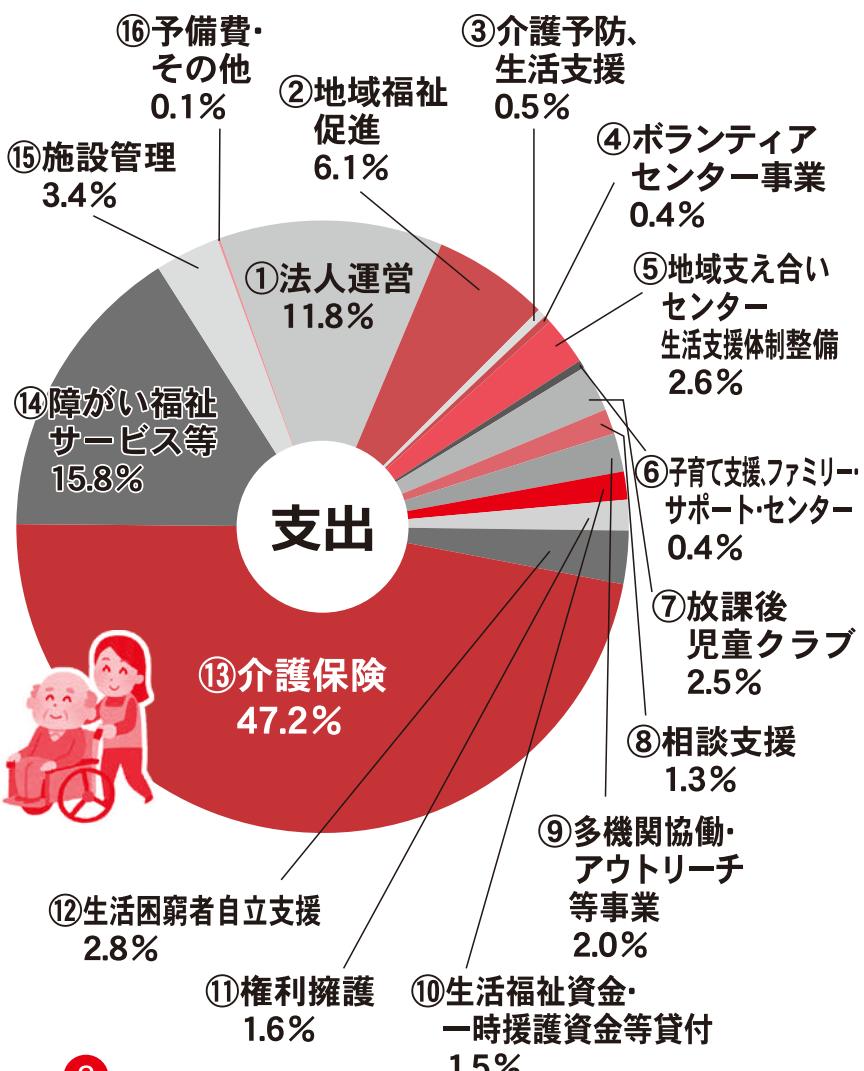
項目	予算額
①会費・寄付金	11,900
②補助金・受託金	199,131
③貸付事業	966
④事業収入・負担金	4,414
⑤介護保険	333,124
⑥障がい福祉サービス等	107,057
⑦その他の収入	57,487

## 支出總額

**738,981千円**

单位 (千円)

項目	予算額
①法人運営	87,103
②地域福祉推進	45,309
③介護予防、生活支援	3,423
④ボランティアセンター事業	2,769
⑤地域支え合いセンター 生活支援体制整備	18,962
⑥子育て支援、 ファミリー・サポート・センター	3,078
⑦放課後児童クラブ	18,142
⑧相談支援	9,773
⑨多機関協働・アウトリーチ等事業	15,000
⑩生活福祉資金・一時援護資金等貸付	10,955
⑪権利擁護	11,946
⑫生活困窮者自立支援	20,794
⑬介護保険	348,210
⑭障がい福祉サービス等	117,192
⑮施設管理	25,325
⑯予備費	1,000



# 令和5年度 社会福祉法人米原市社会福祉協議会 会員加入(会費)のお願い

みなさまの協力(会費)が米原市の地域福祉を支えています!



米原市社会福祉協議会は、「つながりで地域の暮らしを支える」を基本方針とし、市内のすべての人が地域社会の一員として安心して自分らしく暮らし続けられる地域共生社会の実現を目指し事業を展開しています。

皆様から寄せられる会費は、市内の皆様とともに進める地域福祉を支える大切な資金となります。

一人でも多くの皆様方のご理解と温かいご協力をよろしくお願ひいたします。

**普通会費(年額1,000円/世帯)のご協力をお願いいたします。**

米原市社協はこんなことをしています!!

## ■福祉のこころを育む

- ・広報誌・ホームページ等による福祉情報の提供
- ・地域共生社会フォーラム
- ・福祉学習・啓発

NHK「バリバラ」出演中  
玉木幸則氏による講演会▶



## ■子育て支援

- ・子育てサークル育成支援
- ・遊びの広場

子育てサークルづくり▶



## ■地域の担い手・福祉人材を育む

- ・ボランティア活動の支援
- ・福祉専門職養成のための実習の受け入れ
- ・音の広報の発行



▲音の広報はこちらから



▲子ども服や学用品のお譲り会への支援

## ■身近な地域で支え合い

- ・地域福祉活動の支援  
(懇談会・サロン・見守り会議・補助金)
- ・福祉活動団体・当事者団体の活動支援
- ・防災力向上のための取り組み
- ・子ども食堂交流会
- ・一時援護資金貸付事業
- ・備品・車両の貸し出し
- ・フードバンク



▲孤立死を防ぐ▶  
見守り勉強会

## ■つながる仕組みづくり

- ・住民、団体、企業、専門機関などがまるごとつながる場づくり



# 善意銀行だより

令和5年1月6日～令和5年5月31日  
(敬称略)

## 【物品預託】

ワークスさかた	インクジェット紙A4 50枚×15冊
長浜セレモニー株式会社	ポータブル電源 ソーラーパネル付 1台
匿名	ティッシュペーパー5箱×6
小田婦人会	タオル8枚・使用済切手
匿名	鉢花 2つ
米原市山東赤十字奉仕団	菓子 34個
湖北地域労働者福祉協議会	カップめん3箱・パックごはん2箱他
レーク伊吹農業協同組合	子どもの学習・生活支援用各種教材 米 5kg×150袋
匿名	切手1,280円分
匿名	米30kg
株式会社バローホールディングス	カップめん5箱・各種菓子1箱・調味料等他

## 【金銭預託】

柏渕 行雄	100,000円
前川 伊助	1,000,000円
小田婦人会	2,250円
近江体親会	4,110円



長浜セレモニー株式会社様



湖北地域労働者福祉協議会様



レーク伊吹農業協同組合様



## 皆さまからいただいた寄付はどう使われているの？

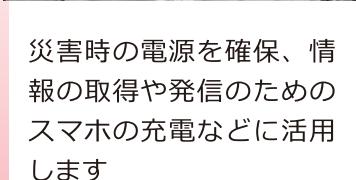
### 【物品拠出】

米原市社会福祉協議会（指定寄付）	ポータブル電源 ソーラーパネル付 1台 切手1,280円分
地域福祉センター	タオル8枚
デイサービス事業所	ティッシュペーパー5箱×6 鉢花 2つ
デイサービス利用者	菓子 34個
フードバンク事業等	カップめん3箱・パックごはん2箱他 学習支援・生活支援活動・社会交流活動 子どもの学習・生活支援用各種教材
生活困窮者支援	カップめん・米 2kg
外部支援団体	米 5kg×20袋・カップめん
外部支援団体（子ども関係）	各種菓子 段ボール1箱 カップめん



来館者を気持ちよくお迎えできるようご寄付のタオルをセンターの清掃に活用

◀タオル



災害時の電源を確保、情報の取得や発信のためのスマホの充電などに活用します  
ポータブル電源ソーラーパネル▶



寄付者からお菓子を手渡しされ利用者さんも大喜び！  
通所介護事業にて活用

◀菓子

その他にも皆さまからいただきました大切なご寄付は、生活にお困りの方や子ども食堂、地域のサロンのほか、市内の福祉事業所等にお渡しし、様々な活動に活用しています。

## 相談

### ・常時相談

社協職員が相談員として対応し、各関係機関と連絡連携し継続的に相談支援を行います。

毎週月～金曜日、午前8時30分から午後5時30分まで。※山東地域福祉活動センターは午後5時15分閉館。祝日も閉館。

〈問合せ〉米原市社会福祉協議会本部および社協各センター

### ・心配ごと総合相談

暮らしの困りごとや悩みごとの相談を受け付けます。

相談は無料。時間はいずれも10時～12時まで(相談受付は11時まで)で、相談時間は1時間程度。

相談員は、行政相談委員・人権擁護委員・民生委員児童委員(身体障がい者相談員・知的障がい者相談員が入られる日もあります。)

〈問合せ〉米原市 福祉政策課 TEL: 53-5121

相談日	会場	相談日	会場
7月11日(火)	山東支所(長岡1206)	8月22日(火)	伊吹薬草の里文化センター(春照37)
7月25日(火)	学びあいステーション(旧近江公民館)(顔戸1513)	9月12日(火)	学びあいステーション(旧近江公民館)(顔戸1513)
8月8日(火)	米原市役所3D-E会議室(米原1016)	9月26日(火)	山東支所(長岡1206)

### ・法律相談

法律に関する相談ごとで、解決の窓口となるよう弁護士が初回の相談に応じます。事前にお申込みください。

相談日	会場	相談日	会場
7月13日(木)	米原市役所3E会議室(米原1016)	9月14日(木)	米原市役所3E会議室(米原1016)
8月10日(木)	米原市役所3E会議室(米原1016)		

1回30分以内 料金 1,000円。時間は10時～12時15分までの間。

〈問合せ・申込み〉米原市 福祉政策課 TEL: 53-5121

※各相談については、状況により中止になる場合があります。

シニアの皆さん、  
仲間をつくり  
健康寿命を  
延ばしましょう！

## ともに学ばん、ともに遊ばん、ともに生きなん 滋賀県レイカディア大学 第45期 学生募集!!

### 1 滋賀県レイカディア大学とは

滋賀県社会福祉協議会では、人生100年時代を迎えて、高齢者の社会参加への意欲の高まりに応え高齢者が新しい知識と教養を身につけ、地域の担い手として活躍できるよう支援するため滋賀県レイカディア大学を開設しています。昭和53年7月の開設以来、約6,500名以上が卒業し、それぞれの地域でボランティア活動や仲間づくりなどの地域活動を行っています。今回、今秋入学の第45期生の募集を行います。

### 2 講座・学科および募集定員

#### (1) 楽しく豊かに生きるための基礎講座 (全学生が受講します)

- ・豊かに生きる、健康づくり、社会参加、くらしと地域などを学びます。

#### (2) 選択講座(出願時に学科を選びます)

- ・各学科に分かれ、その学科固有の知識・技法等を学びます。  
※基礎講座、選択講座を合わせて月5～6回程度の受講(登校)となります。

### 3 修業年限 2023年10月～2025年9月までの2年間

### 4 入学対象 県内に居住し、今年10月1日現在において60歳以上の方

### 5 授業料等

授業料は、各学年 前期25,000円、後期25,000円です。  
(年額50,000円) ただし、教材費、傷害保険料、見学・研修の経費および自主活動等に要する経費等は学生の負担とします。

### 6 出願手続等

「滋賀県レイカディア大学第45期学生募集要項」および入学願書は、市高齢福祉担当課、市町社会福祉協議会、お近くの公民館、図書館、文化ホールなどに配布しています。また、びわこシニアネットからダウンロードできます。(https://www.e-biwako.jp/)

入学願書は必要事項をご記入のうえ、レイカディア大学草津キャンパスまたは彦根キャンパスまで郵送してください。(持参可)

学科	募集定員(人)		合計
	草津キャンパス(5学科)	彦根キャンパス(3学科)	
園芸学科	50(10)	30(5)	80
陶芸学科	25(5)	—	25
びわこ環境学科	25(5)	—	25
地域文化学科	25(5)	—	25
北近江文化学科	—	20(5)	20
健康づくり学科	20(5)	20(5)	40
計	145(30)	70(15)	215

### 7 応募期間(入学願書受付期間)

2023年6月1日(木)～7月31日(月)までの間

(7月31日(月)必着)

### 8 応募・問い合わせ先

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

・滋賀県レイカディア大学 草津キャンパス  
〒525-0072 草津市笠山7-8-138

(県立長寿社会福祉センター内) ☎077-567-3901

・滋賀県レイカディア大学 彦根キャンパス  
〒522-0074 彦根市大東町2-28

(COZY TOWN アル・プラザ彦根4階内)

☎0749-21-6333

## ～心と身体のエネルギー「ふくしのごはん」～



充実した毎日を過ごすためには、エネルギーを補給することがとっても大切です。

身体のエネルギーはごはんで補給。  
でも、充実した毎日を過ごすためには、心のエネルギーの摂取も欠かせません。  
そこで今回は、10年間、介護の仕事を続けられている高木麻美さんに、心と身体のエネルギーの源についてお聞きしました。



近江薰風会  
特別養護老人ホーム  
スマイル  
介護係長  
**高木 麻美 氏**

### 高木さんの心のエネルギー



#### 実は自分のためにも

介護の仕事って大変だし、人のためって思うかもしれません。でも大変だからこそ、生活に気を付けるようになりました。運動したり、食生活を見直したり、自分の健康づくりにもなっています。

#### 利用者さんの「優しさ」と「言葉」です！

介護の仕事は大変です。時にはくじけそうになることもありますが、どんな時でも利用者さんは私の頑張りを見ててくれるんです。「いつもありがとう」とか「頑張っているね」って直接言葉で伝えてくれるので、あたたかい気持ちや笑顔になります。

以前に無口な女性の利用者さんがいて、その人のことが何もわからなかつたんです。まずはその方の意思を聞きたいなと思って、毎日話しかけたんです。そしたら少しずつ返事をもらえるようになって、その方は認知症だったんですけど、私のことを名前で呼んでくれたんです。それがすごく嬉しくて、「次はこうしてみよう」とか色々考えてます。

### 高木さんの身体のエネルギー

♪お母さんの手作りお弁当♪



私、朝がめちゃくちゃ弱くて起きられないんです(笑)  
だから、お母さんのお世話になってしまいます。  
納豆も野菜も嫌いだったんですけど、この仕事をするようになって「身体も大事にしないと」と思って克服しました！



## 令和5年度版！ボランティア一覧表を更新しました

ボランティアセンターには様々な特技をもったボランティアさんが登録されています。

サロン等でボランティアさんと楽しいひと時を過ごしませんか？ボランティアさんとおつなぎいたします。

一覧表は社協各センター窓口に設置、ホームページに掲載しております。



地域の  
サロンにて

◀和太鼓  
ボランティア  
「はじめ」

いろんな種類の太鼓を用意し、迫力ある演奏で盛り上げてくださいました。サロン参加者さんにも太鼓を叩いてもらえるように準備してくださり、みんなで太鼓の音色を楽しみました♪

## 補助金のご案内

市内の地域福祉活動・ボランティア活動を推進し、市内のまちづくりや、住民の社会福祉向上に貢献する活動団体・ボランティアグループ等の自主的かつ自発的な事業・活動に要する経費に対して、予算の範囲内で補助金を交付します。

### ＜補助金の種類と補助金額＞ 団体・グループ活動補助金

1. 基本額	グループ所属者のボランティア活動保険加入者数 ①2~9人 2,000円 ②10人以上 5,000円
2. 加算額（ボランティア活動の実施）	1回500円×活動回数 限度額：15,000円
3. 補助対象経費	限度額：7,500円

詳しくはボランティアセンター（☎54-3100）もしくは社協各センター窓口、ホームページをご覧ください。

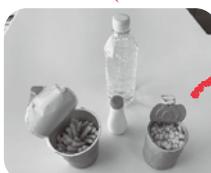


## 時TAN！簡TAN！ おうちごはん

### 時短 なんちゃって ポテトサラダ



#### 作り方



材料を用意する。



袋にポテトスナックと水を入れ、柔らかくなったら、マヨネーズと水を切ったコーンを入れる。



キュクリやハムを足すとさらにおいしいよ！



スナック菓子をつぶすように混ぜると出来上がり。

#### 《用意するもの》

ポテトスナック菓子	60g
水	80ml
マヨネーズ	40g
コーン缶	40g

実はこのメニューは火を使わないで小さい子どもさんでも安心して作ることができます。

また災害時など、火が使えない時でも役立ちます。

皆さんもぜひ作ってみてください。

\*スナック菓子の容器も器として使えます！

米原市のみなさんに役立つ子育て情報をご紹介

# おおきくな～れ



## まちかどインタビュー



コロナの扱いが5類に引き下げられ、みなさんの活動が増えてきているようですね♪  
今年度の「おおきくな～れ」では、市内各所に出向き、お母さんたちの声と可愛

いお子さんの写真をお届けします！！

広報を手にとってくださったみなさんにはっこり♡してもらえると嬉しいです。

今回は市内の子育て支援センターを訪問してきました！

Q:今年挑戦したいこと。楽しみにしていることは何ですか～???

マスクをはずしての  
おでかけをいっぱい  
楽しみたいです！



はるとくんとママ

コロナが落ち着いたら  
外出の機会を増やして、  
子どもに色々な体験を  
させてあげたいな♪



中島さん親子

たくさん  
友達を  
つくり  
たいな♥



きーくんといとくんとママ

パパが始まると  
意気込んでいる  
キャンプに家族みんなで  
便乗することです！



柴野さん親子

動物園や遊園地など  
いろんな所に行って  
思いっきり子どもたちと  
遊びたいです。



ひろくんとママ



## 親子ふれあい広場のご案内



自由に遊んでいただけるお部屋を開放しています。

時間内であれば入退出は自由です。

ぜひ遊びに来てくださいね♪



場 所：やすらぎハウス（米原市顔戸21番地2）

開 催 日：毎週月曜日

（12月29日～1月3日の期間を除く）

時 間：10時～16時

入室定員：10組まで

### 法人本部

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内  
☎ 54-3110 FAX 54-3115 ☐ maibara@maibara-shakyo.or.jp

### 山東地域福祉活動センター

米原市長岡1206 市役所山東支所内  
☎ 55-3933 FAX 55-3933 ☐ m-shakyo-mishima@zd.ztv.ne.jp

### 伊吹地域福祉活動センター

米原市春照56番地 伊吹地域福祉センター愛らんど内  
☎ 58-1770 FAX 58-2231 ☐ m-shakyo-sishi@zb.ztv.ne.jp

### 米原地域福祉活動センター

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内  
☎ 54-3105 FAX 54-3115 ☐ maibara@maibara-shakyo.or.jp

### 近江地域福祉活動センター

米原市顔戸21番地2 近江地域福祉センター やすらぎハウス内  
☎ 52-4393 FAX 52-8051 ☐ m-shakyo-oshi@iris.eonet.ne.jp

- 文字が読みにくい等でお困りの方に、毎号「音の広報」として「広報てとて」をお届けします。ご利用希望の方はお気軽にお問い合わせください。
- （「音の広報」は米原市内の音訳ボランティアの方が読み上げ・録音・編集されたものです。）♪♪♪♪♪



てんてんのイラストは、地域のボランティアさんに描いていただいたイラストです。

この広報は一部赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

